彙報

一、筑波大学哲学・思想学会会長及び評議員の選出

○二〇一九年四月二〇日（土）に開催された第一回評議員会において、互選により、新会長に井川義次氏が選出された。
○学会規約に基づき、井川会長の推薦により、次の二名が会長推薦の評議員に選出された。
菅野孝彦、平良直（五十音順、敬称略）

二、評議員会の開催

二〇一九年四月二〇日（土）、第一回評議員会が筑波大学人文社会学系棟八階会議室において開催された。
○審議内容のうち、会長の選出に関しては一に記した通りである。
○編集委員に、五十嵐沙千子、木村武史、千葉建、橋本康二、檜垣良成、吉水千鶴子の各氏が委嘱された。
○事務局代表に、五十嵐沙千子氏、檜垣良成氏が委嘱された。
○二〇一九年度の活動方針について審議された。
○幹事に、北夏子、高石憲明各氏が委嘱された。
○筑波大学哲学・思想学会奨励賞の選考委員が選出された。
二〇一九年十月一九日（土）、第二回評議員会が前回と同じ場所で開催された。
○院生幹事に、竹中淳、松島恒熙、横山啓人の各氏が委嘱された。
○二〇一九年度の筑波大学哲学・思想学会奨励賞は、該当者なしとすることが承認された。
○奨励賞の規約の改定について審議された。
○復帰会員について審議された。

三、第四十回学術大会の開催

筑波大学哲学・思想学会第四十回大会は、二〇一九年十月一九日（土）筑波大学人文社会学系棟A101を会場として開催され、以下の研究発表、公開講演および総会が行われた。

〔研究発表〕

1 「永劫回帰」における死――ハイデガーの『ニーチェ 1』、『存在と時間』を手がかりに――　丸山　徹
2 ハイデガーにおける世界内存在と超越の問題について　松島恒熙
3 うらみと「甘え」の欲求　岸本　崇
4 ジョン・ペッカムと世界の永遠性　石田隆太
5 内的義務とは何か――カントの義務論からヴォルフ学派の義務論への遡行　千葉　建

〔公開講演〕
ユダヤ人の歴史を貫くもの
東京大学名誉教授　市川　裕

〔総会〕
○活動報告　二〇一八年度の活動報告が承認された。
○会計報告　高石憲明幹事より、別表の通り平成三十年度会計報告（平成三十年四月一日～平成三十一年三月三十一日）がなされ、承認された。

四、編集委員会の開催

『哲学・思想論叢』第三十八号の第一回編集委員会が、六月二十六日（水）筑波大学人文社会学系棟八階会議室において開催された。

○吉水千鶴子氏が編集委員長に委嘱された。

○第三十八号の編集方針・日程等が検討された。

第二回編集委員会が、九月一〇日（水）にメール会議で開催された。

○第四〇回学術大会研究発表者の選考が行われた。

○大会プログラムについて検討された。

第三回編集委員会が十月二日（水）筑波大学人文社会学系棟八階会議室において開催された。

○投稿論文の審査について検討された。

第四回編集委員会が、十月二十三日（水）前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文が審査された。

五、会員異動

○新入会員

安宅暁子、勝俣陸、品田拓眞、辻村知夏、田永傑

○退会会員

海老江康二、柴田史子、リアナ・トルファシュ

（五十音順敬称略）

（二〇一九年十二月二十七日　北夏子記）

『哲学・思想論叢』第三十九号原稿募集

・原稿締切日

九月最終水曜日の前日。

二〇二〇年九月二十九日（火）

論文執筆規定をご参照の上、ご寄稿ください。

筑波大学哲学・思想学会平成30年度会計報告

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）会計担当幹事　北夏子

（単位：円）

収入		支出	
前年度繰越金	983,008	機関誌作成費	380,700
学会費	559,000	通信費	79,612
		アルバイト代	37,000
		学会賞	50,000
		大会開催費	86,034
		評議員会開催費	73,890
		事務用品代	9,060
		次年度繰越金	825,712
計	1,542,008	計	1,542,008